

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス lumière				公表日	2026年 1月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・広々としている ・定員数に見合ったスペースは十分にある ・時々に必要な物だけを置いており、同線もスムーズ 		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・常に密に関われている ・児童数に見合った配置をしている 		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・入ってはいけない所が明確になっている ・部屋を使い分けたり、マットの色を変えて構造化している ・フロアの区別をマットで色分けしている 		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・午前と午後とどちらも掃除している ・通所後、清掃と消毒を実施し、活動に合わせて器具を出している ・整理整頓、清掃の徹底 		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・和室がある ・カームダウンルームがある 		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・常に台帳に記載してミーティングしている ・ミーティングで実施している ・朝のミーティングの場で行えている 		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間でのミーティング ・ミーティングを設定し、業務改善に繋げている 		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・なんの意見でも言い合って改善努力をしている ・スタッフでミーティング出来ている ・朝のミーティングの場で行えている 		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・職場環境アドバイザーが評価してくれている 		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・社内研修が実施される時がある ・所内研修、外部研修を実施している ・アプローチ法も含め、利用児童に必要な内容を受講 		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人に合ったプログラムだと思う ・HPに公表している 		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様からいつも丁寧な計画とってもらえる ・見学時や半年に一度対面でアセスメントし、それを元にスタッフ間で話し合いながら作成している 		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間で話し合いながら行っている ・アセスメントにも参加し、話し合いながら作成している ・児発管の自己満足な計画にならないよう、意見を聞 		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・全員が周知出来ている ・各児童のファイルに計画書があり、いつでも見られるようになっている ・毎回、計画書を手元にしながらミーティングで確認している 		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・今日はどうだったか、明日はどうなると思うか等と常に分析している ・日々様子を記録している 		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・具体的である ・全て計画書に記載されている 		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・関わるスタッフ全員で行っている ・毎日のミーティングで決めている 		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・運動は運動でも、偏らないように気を付けている ・ミーティングで話し合っている 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・必ず一日の間で集団活動が入っている ・児童に見合った活動を組み込み支援している 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人について話をしている ・毎日ミーティングをしている 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・小さなことでも共有するようにしている ・毎日共有し、記録している 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・台帳に記載している ・毎日実績記録に記載している 	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・半年に一回行っている ・半年に一度モニタリングを実施している 	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・きちんと出来ている ・組み合わせさせて支援している 	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・自己決定力を養う事にも力を入れているのでかなり工夫している ・選択してもらおう場面を設けている 	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	50%	50%	<ul style="list-style-type: none"> ・全員よく理解している ・直接関わっているスタッフが参画している 	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・かなり連携あっている ・送迎時に様子や状況を日々伝えている ・進捗状況を都度伝えている。園・学校側からも報告を頂けている 	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・特に荻野小学校、伊丹小学校と共有できている ・連絡体制がとれており、お迎え時刻も渡している ・進捗状況を都度伝えている。園・学校側からも報告を頂けている 	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・よく共有し合って理解出来ている ・特性や状況など共有している ・児発から放デイに上げられるので、経過の全てを共有できている 	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	75%	25%	<ul style="list-style-type: none"> ・今はないが、今後そういう機会があればよいと思っている ・必要であれば共有する。今まで該当する児童がいない ・現在、まだ該当児存在がないが、移行の際は必ず提供する 	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・密に連絡を取っている ・連携は図れているが、助言等の機会等はそもそも設けられていない 	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・きららホールによく行っている ・公園やきららホール、公共施設に向き交流している ・近隣公園、公民館等で交流機会 	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	25%	75%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要であれば参加する ・放デイ連絡会に参加している 	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時や電話で日々お伝えしている ・毎日行えている 		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・LINEで研修の情報提供している ・情報提供は常々行っている ・送迎時に情報提供を行っている 		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に書面と口頭で説明している ・社長が毎回丁寧に説明している 	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・家族だけではなく、お子様にも意向を聞いている ・毎回聞いている 	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・書面を用い、説明し署名を頂いている ・具体的な説明を必ず行い、同意をもらってから開始している 	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		・相談があれば、電話や面談、送迎時に対応している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	100%		・親子参加型の父母の会を開催している ・行事での参観時の交流 ・クリスマス会や保護者参加型参観などを行っている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		・苦情があれば即座に上席に報告し、迅速に対応している ・苦情かどうかは定かではないが、早急に対応していた	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		・SNSやlumière新聞などで発信している ・Instagramに載せている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		・個人情報鍵付きの書庫に入れている ・実績記録などは常に気を付けている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		・電話、LINE、面談を行っている ・LINEや送迎時に聞いている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%	・地域住民の高齢化で誘うのが難しい	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		・各マニュアルを作成し、契約時に伝えている。 訓練も毎年実施している ・避難訓練をしている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		・BCPを策定し、訓練も毎年実施している ・避難訓練をしている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		・見学、契約時に必ず確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		・保護者から聞き、その食事は出していない ・保護者から頂いている ・いつでも見られるように冷蔵庫に貼っている。そもそも出していない（他の子に対しても）	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		・安全計画を作成し、毎年研修や訓練も実施している	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		・契約時に周知している ・書面や口頭で伝えている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		・ヒヤリハットを共有し、ファイリングしている ・ヒヤリハットが出る度に話し合っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		・毎年研修に取り組み、外部研修にも参加している ・常に出来ている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%		・身体拘束が必要な児童はいないが、そのように対応する		